

第2回理事会

議事概要

開催日:平成30年10月19日(金) 午後2時15分から午後4時30分

場 所:附属図書館4階学習室

出席者:横内正明理事長、福田誠治副理事長、谷内治彦理事、阿毛久芳理事、新保祐司理事
大谷哲夫理事、小林重雄理事、鶴田和雄監事、宮本和之監事

■理事長挨拶

横内理事長よりあいさつ

○新委員自己紹介

議 事

(1) 都留文科大学学部・学科改編プラン8について

○福田副理事長から会議資料1に基づき説明。

前回までの決定事項、了承事項を踏まえ、改革案①文学部国際教育学科を新しい国際教育学科に改編する「新国際教育学科改編準備室」を設置。②COC推進機構を廃止し、その機能を地域交流研究センターの地域貢献部門として統合する。を説明。審議の結果、提案通り承認。

その他新校舎完成後の改革展望、東南アジア等からの留学生の案を説明。審議の結果、検討を重ね次回以降のプランに組み込んで提案していくこととする。

(2) 新国際教育学科改編準備室規程について

○谷内理事から会議資料2に基づき説明。

改革案に基づき必要な規程を策定した。

※審議の結果、提案通り承認。

(3) 平成31年度都留文科大学の組織再編について

○谷内理事から会議資料3-1、3-2、3-3、3-4に基づき説明。

(2)に引き続き説明。

※審議の結果、提案通り承認。

(4) 平成31年度予算編成方針(案)について

○矢嶋総務課長から会議資料4に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

平成31年度予算方針基本目標

1. 教育養成系大学としてのブランドの強化
2. 地域を創りグローバル化を支える人材の育成
3. 「教育首都つる」推進に向けた地域貢献
4. 柔軟で機動力のある大学経営の推進

・ 15 項目の主要課題

大学改革の推進(学部・学科改編、語学改革等)、学科運営経費ガイドラインの見直し、効果的な教育・研究実施体制の推進、

知のフォレストキャンパス構想に基づく新棟建設計画の実施等

・ 人事計画：教員の配置計画、職員の人事計画に基づく予算措置、待遇改善

・ 財務計画：収入について経常費補助金、受託研究費、競争外部資金等の受入れ強化。

支出について平成 29 年度決算を基本とし、原則マイナスシーリングを実施。

知のフォレストキャンパス構想に基づく新棟建設計画の実施

(5) 知のフォレストキャンパス構想について

○矢嶋総務課長から会議資料 5-1、5-2 に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

(6) その他

なし

4 報 告 事 項

(1) 都留市公立大学法人評価委員会平成 29 年度業務実績評価結果について

○小宮経営企画課長から報告資料 1-1、1-2 に基づき説明。

評価の結果 「中期計画の進捗はおおむね順調である」の B 評価

法人の自己評価と同様。

・進捗がやや遅れている指摘事項 15 項目について、各担当の対応策を説明。

・法人に対する勧告 なし

(2) 平成 30 年度夏季・秋季オープンキャンパス・入試相談会の実施状況について

○小宮経営企画課長から報告資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明。

・夏季オープンキャンパス（7 月 14 日、15 日開催）

1 日目：国文学科・英文学科・比較文化学科・国際教育学科・学校教育学科

・地域社会学科

2 日目：学校教育学科・地域社会学科・国際教育学科

参加者数 受験生 1,149 人 保護者等 1,186 人 計 2,341 人（前年比△289 人）

※全体数が減少した。

・入試相談会（8 月 5 日開催）高校 3 年生、予備校生（既卒生）限定 予約制

参加者数 受験生 168 名 保護者 198 名 計 366 名

※初めての開催。夏季オープンキャンパスでは参加者が減少したが、ここで参加者が来ており、夏季と考えれば昨年比は増える事が言える。

・秋季オープンキャンパス（10 月 8 日開催）

参加者数 受験生 334 名 （前年比△48 人）

※昨年度祝日の参加が 8 割を占めるため 1 日開催とした。

高校 3 年生で推薦入試希望者が多い。近隣県の参加が多い。

(3) 北欧交換留学について

○新保理事から報告資料 3 に基づき説明

(4) その他

なし

以上